

サンケン電気の製品には 社会課題を解決する チカラがある

フィロソフィー

経営理念

私たちは、半導体をコアビジネスに、パワーエレクトロニクスとその周辺領域を含めた最適なソリューションを提供することを使命とし、世界各地の産業・経済・文化の発展に寄与する。

私たちは、常に技術力と創造力の革新に努め、品質の確かさを追求する。さらに顧客と価値観を共有し、独自の技術をもってグローバルに事業を展開する。

私たちは、従業員一人ひとりを尊重し、すべての従業員に公正に接する。また、従業員は信頼される個人、そして企業人として成長するよう努める。

私たちは、技術と創造を重んじる企業人として、高い倫理観に依って業務を遂行し、公正さと高潔さをもって顧客や取引先に対して接する。

私たちは、株主のために会社の価値を最大限に高め、社会的な責任を果たし、環境との調和に努める。

Power Electronics for Your Innovat!on

スローガンの意味

「2018年中期経営計画」(18中計)のスタートを機に、この中計に対する我々の思いを「Power Electronics for Your Innovation」というスローガンに表現しました。お客様のイノベーションのために、社員一人ひとりのイノベーションのために、そして、社会のイノベーションのために、サンケン電気はパワーエレクトロニクスを通じて貢献していく企業になるという意志を込めています。

プロフィール

1937年、(財)東邦産業研究所は、旧東邦電力(株)の創立50周年記念事業として、当時同社の社長であった故松永安左エ門氏により、実際の社会に役立つ産業開発を行うことを目指し創設されました。同研究所の半導体研究室主任であった故小谷鍊治氏は、終戦により解散となった同研究所の技術者と設備を継承し、1946年、東邦産研電気(株)を設立。その後1962年、現社名のサンケン電気(株)へ商号変更しました。

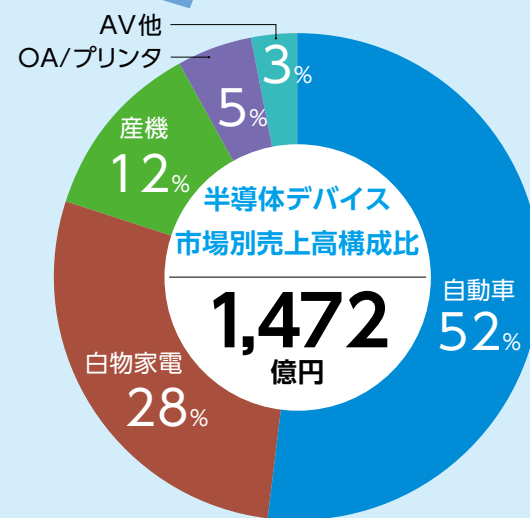
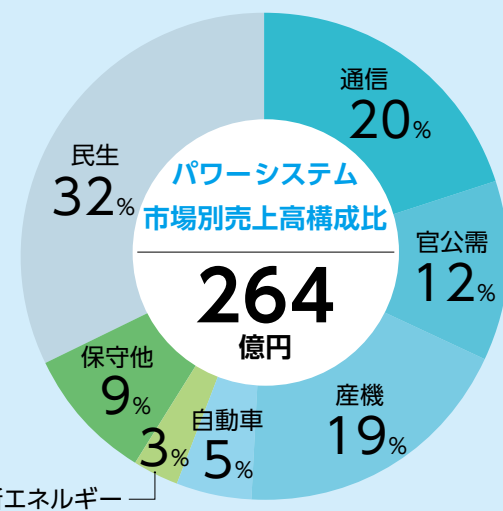
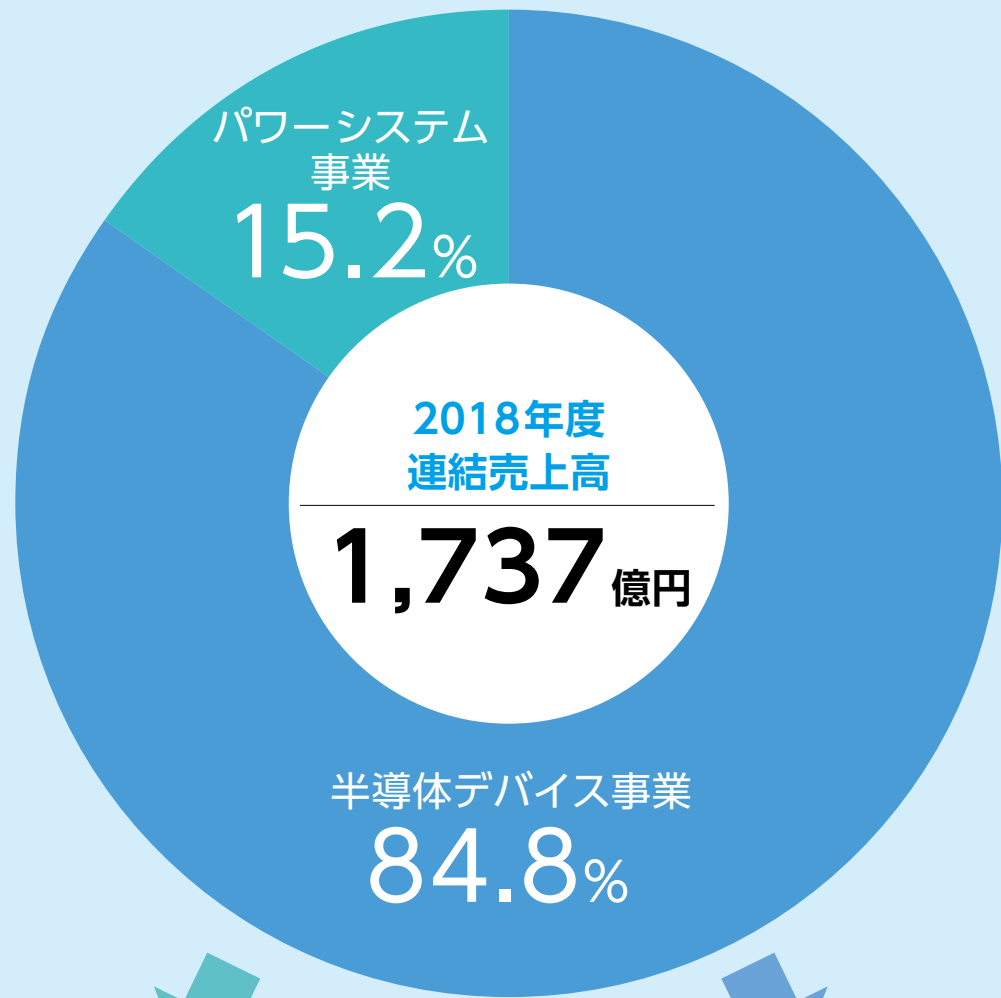
研究所時代から続く亜酸化銅、セレン整流器での成果をもって半導体専業の工場を創設。1958年には、当時世界でも画期的な熱拡散型シリコンダイオード、引き続いてシリコンパワートランジスタの試作に成功。以降、エレクトロニクス産業とともに成長し、パワーエレクトロニクス分野のメーカーとして確かな地位を築き、そして時代の変化を捉え、社会が、お客様が求める多様なニーズにお応えする電源およびその周辺事業領域において高品質のソリューションを提供してきました。これまでも、またこれからも、独創的で先進的な製品を供給し、パワーエレクトロニクスの分野で卓越した革新者であり続けることに挑戦していきます。

目次

プロフィール	CTOメッセージ	32
フィロソフィー	CSR	34
事業概要	環境貢献製品	36
主要製品群	環境パフォーマンス	38
ターゲット領域	環境貢献活動	39
ステークホルダーの皆様へ	社会貢献活動	40
価値創造の歴史	コーポレート・ガバナンス	42
製品のInnovation	コーポレート・ガバナンス	44
人のInnovation	サンケングループを支えるマネジメント	46
社会のInnovation	社外取締役メッセージ	48
社長インタビュー	役員一覧	49
財務・非財務ハイライト	IR/SR活動	50
事業別概況	主要連結財務・非財務データ(11年分)	52
半導体デバイス事業	財務諸表	56
パワーシステム事業	事業等のリスク	58
特集1 グローバル生産拠点とものづくり	株式情報	59
特集2 エンジニアのグローバル登用と育成	会社情報	59
特集3 「ペットポタル®」によるCSR活動		

事業概要～セグメント別売上高～

半導体をコアビジネスに技術力と創造力の革新に努め、
独自技術によるグローバルな事業展開を進める



主要製品群

サンケン電気が誇る **主力製品**

自動車向け製品

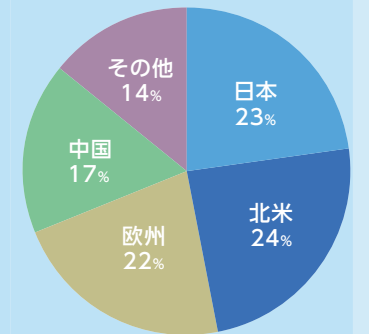


快適性や安全性、走行性能の追求などにより、自動車搭載部品は急速にエレクトロニクス化が進んでいます。従来より高い実績を持つオルタネータ用ダイオードやレギュレータICなどの製品ラインアップに加え、近年はハイブリッド車や電気自動車向けの製品が着実に増えてきています。また、自動車向け磁気センサーでは世界トップクラスのシェアを誇ります。

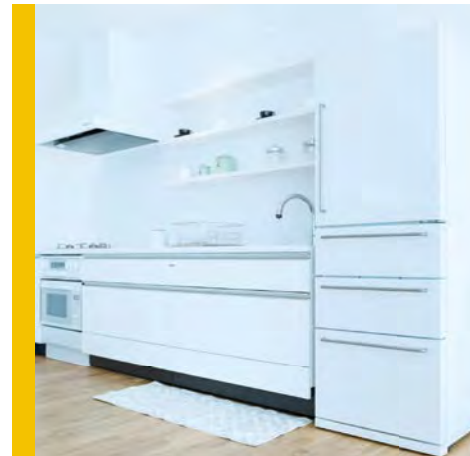


地域別・市場別売上構成

磁気センサーの地域別売上構成



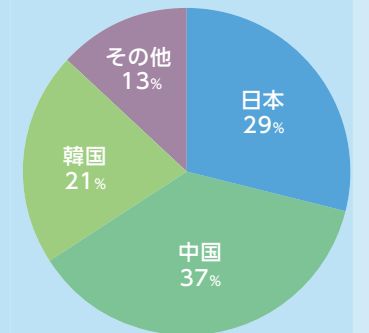
白物家電向け製品



環境問題を背景として、各国で二酸化炭素(CO₂)排出規制や電力供給の制限が強化される傾向の中、エアコン・洗濯機・冷蔵庫などの家電製品において、省エネ効果の高いインバータ化の動きが加速しています。インバータ家電の中にはモータ駆動用IPMと呼ばれる当社のICが使われており、サンケン電気のIPMは、家電製品の中で世界の家庭の電力消費量の削減に貢献しています。



白物IPMの地域別売上構成



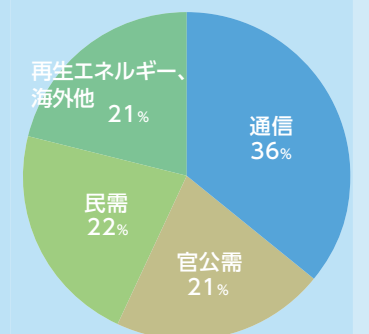
社会インフラ向け製品



サンケン電気のUPS(無停電電源装置)は、IT機器、工場生産設備やトンネル照明設備などの社会インフラ市場において高い実績を誇ります。また、近年は監視カメラや通信機器のバックアップなど屋外で使える電源装置の需要も高まっており、防水・防塵性能に優れた製品を展開しています。通信市場では、基地局向け電源装置の実績も豊富で、5G通信規格の普及に向けた製品の開発を強化しています。



社会システム市場別売上構成



ターゲット領域

「2018年中期経営計画」(18中計)では、以下の成長分野をターゲット領域に定め、注力していきます。



ステークホルダーの皆様へ

時代の変化を見据え、サンケングループの未来づくりに向け、経営を押し進める。

私たちサンケングループは、経営理念に則り、半導体をコアビジネスに技術力と創造力の革新に努め、独自技術によるグローバルな事業展開を進めるとともに、企業に対する社会的要請や環境調和への着実な対応を通じて、企業価値を最大限に高めるべく、確固たる経営基盤の確保に邁進しております。私たちを取り巻く環境は、現在、大きな変化の只中にあります。高度経済成長を達成した新興国での環境意識や規制の高まり、電気自動車、自動運転技術の発展、AIやIoT、5Gをはじめとする新技術の台頭から変化が加速する一方、社会の持続的成長を目標とするSDGsへの対応、職場での多様性への対応、効率的な働き方へのシフトなど、時代の要請は増えています。こうした中で、当社が「18中計」で戦略市場と位置付ける「自動車」「白物家電」「産業機器」「通信」「新エネルギー」の5つの市場は、ともに拡大が予測され、社会はやがて技術的特異点(Technological Singularity)へと到達し、新たな未来へと導かれるかもしれません。

変化の著しい時代に勝ち残り、そして企業に課せられた社会のニーズに対応するために、事業活動とCSR活動を一体化させたESG経営を着実に実施することはますます重要性を高めています。そうした時代を見据えながら、「独自性のある技術、人と組織のパフォーマンスで成長する高収益企業」を実現させ、10年後のあるべき姿を目指してまいります。

ステークホルダーの皆様から、これまで以上に産業・経済・文化の発展に貢献する価値ある企業と認めていただくとともに、社員一人ひとりが尊重され自己の成長を実感できる企業になりたいと考えております。

本レポートをご一読いただき、当社の経営に対するご理解を深めていただければ幸いです。



代表取締役社長 和田 節

価値創造の歴史 1946年の設立以来、不断の研究開発を積み重ね、時代のニーズに応え、グローバルな社会課題の解決に挑戦しています。

